

「With コロナ時代における未来アイデア
応募用紙

○応募者
氏名・法人

・団体名	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 デザインプロジェクト アートびっくり戦隊
(法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容
アイデアの部門を下記から1つ選んで丸(○)を記入してください。

未来デザイン部門

未来テクノロジー部門

アイデア名	移動美術館～逆どこでもドア～
-------	----------------

提案の概要(200字以内)
これまでは、行きたい場所へ自分が移動するのが普通だったが、COVID-19により移動抑制が推奨される中で、最先端の技術を駆使した高精細画像データを活用した 美術館が身近な場所に来てくれる 。リアルな美術館では原則無言で鑑賞するが、同じ場所にいる人と感動や感想を共有でき、コミュニケーションの場となるのが特徴。 美術館を身近に感じることで「いつかは本物を観てみたい」という気持ちを醸成し、本物の美術館への誘客を促進する。

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
(現状) 住民 ・分散登校や時差通学により友人と会う機会が減少。 ・回覧板の停止やイベント中止などコミュニケーションの場が失われている。 ・行きたいと思っても、遠方への移動や公共交通機関を使うことが躊躇われる。 ・ずっと家の中に引きこもっているわけでもなく、近所に出かけることは抵抗感が少ない。 ・近所に安心して出かけられるところがマンネリ化している。 美術館 ・休館や展示時期の変更、展示内容の変更が余儀なくされている。 ・再開しても来場者が少ない。 ・オンライン美術館や無観客でのトークイベント配信のみの対応が増えている。 ・パブリックドメインの作品を中心に名画のデジタルデータが無料公開されはじめている。 ・保存の観点から美術品のデータ化の動きが活発化している。
(課題) 住民 ・コミュニケーションの場の喪失。 ・友人ができない。(特に新入生、新社会人など今年度大きく環境が変わった人)

- ・人と疎遠になる。
- ・人によっては鬱傾向が顕在化。

美術館

- ・来場者が見込めない。
- ・イベントや展示を企画できない。
- ・美術館離れが進む。
- ・美術館の存亡の危機。
- ・日本の文化の衰退。

(背景)

- ・COVID-19の流行による突然訪れた終わりが見えない環境の変化の中での不安。
- ・世界の美術館が名画のデジタルデータを無料公開しはじめたが、現在のオンライン美術館は魅力あるコンテンツになっておらず、これから成長していく可能性が高い。

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由

(効果)

- ・新しいコミュニケーション場所の創出
- ・オンライン化による効率化でそぎ落とされがちな社会関係資本(信頼関係)[※]を構築
- ・鬱の未病改善ツールとして活用
- ・COVID-19の被害が大きい美術館業界への支援
- ・美術品のデジタルデータの活用方策を創出し、美術品のデジタル保存を促進
- ・世界に先駆けた新しい「オンライン美術館」の創出

※ 社会関係資本とは

さまざまな種類のアクター(個人、地域社会、国、組織、集団)が、他のアクターとつながること、社会的な関係への影響、つながりを通して得られるさまざまな資源、処理液の価値の合計のこと(出典:地域考察メディア <https://kayakura.me/social-capital/>)

たまたま居合わせた人と友達になって遊んだりビジネスに繋がるような“縁”、それを持っていない人よりも有利に物事が進む“コネ”。

社会関係資本が蓄積されると、本来必要な手順をぶっ飛ばして資源へのアクセスが可能になる。取引先の照会、恩義によって無理を聞いてあげる・もらうこと、そして本来ならアクセス不可能な人にアクセス可能になるといったもの。(出典:<http://gohandlesuyokun.hatenablog.com/>)

(課題)

- ・当該提案はビジネスモデルの提案であり、社会実装するためには趣旨に賛同してくれる企業や美術館、実証フィールドが必要
- ・県には、事業化に向けた企業等とのマッチング(移動美術館に必要な技術を持っている企業、学校、美術館、NPO、アカデミアなど)及び事業化に必要な実証実験を行う場合の県内フィールドの提供(例えば、オンライン上で作った絵画作品をデジタルで発信できる場など)・調整の支援を期待。

(その他)

- ・当該提案は美術館をテーマにしているが、アートに限らずオンラインを通じての友達の作り方(コミュニケーションの取り方)を学ぶコンテンツとして様々な形で応用できると考えている。

提案の詳細 ※様式自由

別添資料のとおり

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡張して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又はPDF形式)で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合わせて最大20MBまでです。